

新技術等 概要説明資料

※登録番号

第17-1号

※登録年月日

令和8年3月31日更新
平成17年11月7日登録

※受理番号

令和7年度更新-1

1 新技術等の名称	位置情報画像掲示板システム「位置コミ」			
2 分類 (該当するものに○)	新技術	新工法	新製品	申請年月日
	○			令和8年1月14日
3 キーワード 複数記入可 (該当するものに○)	安全・安心	環境	情報化	コスト縮減・ 生産性の向上
			○	○
	公共工事の 品質確保・向上	景観	伝統・歴史 ・文化	リサイクル
	○			
4 開発目標 複数記入可 (該当するものに○)	省人化	省力化	経済性の向上	施工精度の向上
			○	○
	耐久性の向上	安全性の向上	作業環境の向上	周辺環境へ の影響抑制
	省資源・ 省エネルギー	品質の向上	リサイクル性向上	その他
		○		
その他の場合の目標				
5 開発体制 (該当するものに○、 開発会社等を記入)	単独		共同（民・民）	○
	共同（民・官）		共同（民・学）	
	開発会社	株式会社小田島組、株式会社イー・エス・ディ (バージョンアップ)株式会社小田島組、株式会社現場 サポート、あっとクリエーション株式会社		
	開発年月	2004年4月、(バージョンアップ)2014年4月、2021年4月		
6 問合せ先	会社名	株式会社小田島組		
	担当部署			
	担当者	加藤誠		
	住所	岩手県北上市藤沢20-35		
	電話	0197-72-5510		
	F A X	0197-72-5590		
	E-mail	makoto@odashima.co.jp		

注) ※は記入しないでください。

7 新技術等の概要	
電子掲示板上で写真や位置情報をやりとりする事により、正確な状況把握と円滑な情報共有を可能にします。写真を見て状況を判断し、地図を見る事により位置の確認ができます。	
8 新技術等の特徴	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ソフトをインストールする事なく、すぐに使用できます。 ・ 電子掲示板方式のため、複数のユーザー間で情報共有ができます。 ・ 地図サーバーより地図が配信されるため、日本全国の地図を使用する事ができます。 ・ スマートフォンやタブレットにも対応しています。 ・ スマートフォンやGPSデジカメを使用すると位置情報が取得できます。また、手動で地図上の任意の位置を指定できます。 ・ 入力された情報はPDF印刷が可能です。 	
9 施工方法又は製造方法	従来技術等との比較
インターネットに接続できるPC (Windows)、スマートフォン、タブレット等があればすぐに使用可能です。	なし
10 施工単価又は商品単価	従来技術等との比較
毎月の使用料（税抜き） Bコース（¥25,000/月） Aコース（¥45,000/月） Sコース（¥60,000/月） 初回時と更新時に別途設定費用がかかります。	なし
11 適用条件・適用範囲 （施工上・使用上の留意点を含む）	従来技術等との比較
インターネットに接続できるPC (Windows)、スマートフォン、タブレット等があること。	なし

注) 記入しきれない場合は、適宜、該当欄を広げて記入して下さい。

12 残された課題と今後の開発計画

課題：

- ・ユーザーの要望により改良を予定。

開発計画：

- ・開発予算が付き次第、順次開発します。

13 実証試験等の実施状況

岩手県内における正式使用

- ・北上総合支局土木部（平成16年4月より）、現在、北上土木センターにて使用
- ・花巻総合支局土木部（平成16年10月より）、現在、花巻土木センターにて使用
- ・県南広域振興局土木部（平成17年4月より）、現在、県南広域振興局土木部にて使用
- ・県北広域振興局土木部（平成17年4月より）
- ・千厩土木センター（平成17年4月より）、現在、千厩土木センターにて使用
- ・北上総合支局土木部西和賀出張所（平成17年6月より）、現在、西和賀出張所にて使用
- ・大船渡地方振興局土木部（平成17年9月より）、現在、大船渡土木センターにて使用
- ・二戸地方振興局土木部（平成17年10月より）
- ・一関総合支局土木部（平成17年10月より）、現在、一関土木センターにて使用
- ・遠野地方振興局土木部（平成18年4月より）、現在、遠野土木センターにて使用
- ・釜石地方振興局土木部（平成18年4月より）、現在、沿岸広域振興局土木部にて使用
- ・宮古地方振興局土木部（平成18年4月より）、現在、宮古土木センターにて使用
- ・盛岡地方振興局土木部岩手出張所（平成18年5月より）、現在、岩手土木センターにて使用

14 新技術等の効果

比較する従来技術等

項目	活用の効果（該当するものに○や数値を記入）			比較の根拠
①経済性	向上（○）%	同程度	低下（○）%	
②工程	短縮（○）%	同程度	増加（○）%	
③品質	向上（○）	同程度	低下	
④安全性	向上	同程度（○）	低下	
⑤施工性	向上（○）	同程度	低下	
⑥環境	向上	同程度（○）	低下	
⑦その他	向上	同程度（○）	低下	

15 他機関等での評価の有無（複数記入可）

・評価の有無	有（注）今回の「位置コミ」の前身技術
・評価機関及び評価制度	国土交通省 NETIS
・評価又は登録年月日	登録年月日 2000.09.20
・評価又は登録番号	登録No. TH-000032（デジタル画像への位置情報付加およびその活用）

注）記入しきれない場合は、適宜、該当欄を広げて記入して下さい。